

令和6年度 第2回臨床腫瘍セミナー

在宅医療の現場から がん緩和ケアを考える

臨床腫瘍セミナーに参加する方の多くは、病院・医療機関に勤務する医療者だと思います。病院医療の現場から見るがん緩和ケアと在宅医療の現場から見るそれとはどのようなところが同じで、どのようなところに違いがあるのでしょうか？緩和ケアチーム活動や在宅緩和ケアの実践など演者のこれまでの経験などを踏まえてお話しします。

ふくしま在宅緩和ケアクリニック 院長

講師 橋本 孝太郎 先生

(はしもと こうたろう)

2004年 3月 福島県立医科大学卒業
2004年 4月 福島労災病院 初期臨床研修医
2006年 4月 福島県立医科大学麻酔科学講座 後期研修医
2007年10月 福島県立医科大学麻酔科学講座 助手
2008年 4月 国立がんセンター中央病院精神科 短期がん専門研修医
2008年10月 福島県立医科大学麻酔科学講座 助手
2010年 4月 医療法人社団爽秋会 ふくしま在宅緩和ケアクリニック
2024年 8月 同院長
<資格・免許>
2023年 5月 経営学修士
2024年 4月 日本緩和医療学会 緩和医療指導医
<所属学会>
日本緩和医療学会、日本死の臨床研究会

日時：令和6年8月20日(火)18時～19時

場所：福島県立医科大学6号館2階 第4講義室

司会：佐藤 薫 先生（緩和ケアセンター）

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本セミナーは、大学院授業要綱に基づく「共通必修科目(8)」に該当します。大学院生は履修票をご持参下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL:ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 令和6年8月29日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学5号館2階 第8講義室
(講師)福島県立医科大学先端臨床研究センター 教授 志賀 哲 先生